

女性技術者の紹介

私と下水道と……



復建調査設計株式会社／保全構造部／上下水道課 白木日奈子

1. はじめに

私は、2019年に復建調査設計株式会社に入社し、現在6年目になります。入社以降ほぼ一貫して下水道設計業務に携わってきましたが、社会人になるまで土木の勉強は一切したことがありませんでした。

生き物が好きで、大学では生物を専攻していましたが、上下水道部門に配属され、どういうわけか下水道の道を歩むことになりました。

家から近いからという理由で広島本社の弊社を選び、土木の「ど」の字も知らないままスタートした技術者人生ですが、今回はこれまでに下水道設計に携わった中で印象深かった業務について紹介したいと思います。

2. これまで携わった業務

(1) 雨水管の詳細設計

2年目の時に道路設計に伴う雨水管整備を経験しました。道路の図面も分からない、下水道の図面も分からない……そんな状態でしたが、何よりこの業務では現地調査で何度も迷子になりました。

というのも、かなりの方向音痴だった私は、地図が全然読めなかったのです。1年目はまだ分かりやすい現場が多かったのですが、今回は住宅街。似たような景色の続く上に目印も少なくもうお手上げでした。

今思うと非常に恥ずかしいのですが、現場で何度も地図を回しながら上司に「今どこですか？」と聞き、大変迷惑をかけました。ちなみに、現在では方向音痴は克服しています。大進歩です。

あまりに何も知らない新入社員でしたが、上司の皆さんにはゼロどころかマイナスの状態から大変丁寧に教えていただき、感謝しています。おかげさまでなんとか半人前くらいにはなれました。多分……。

(2) 汚水管の移設設計

こちらも2年目の時にに行った業務なのですが、橋梁の架替に伴う汚水管の移設で、特にこれといって特殊なこともなく、延長も非常に短いシンプルな業務でした。

しかし、この業務では計画・設計から製図、数量計算

まで、ほぼ1人で行うことになり、大変苦勞しました。

短い区間とはいえ、1人でこなしたことで得るものは非常に大きく、下水道設計とは何たるかを少し掴むことができました。自分で手を動かす大切さを実感し、この業務は私の中で大きなターニングポイントとなっています。

(3) 汚水管の新規整備業務

4年目にして、初めて汚水管の新規整備業務を経験しました。下水道の普及率が上がっているため、なかなか機会がないのが現状ですが……、なんと地元での業務でした。

範囲も広くかなり大変ではありましたが、見知った土地の汚水管を設計するのは感慨深いものがありました。現場は地元民なら頻繁に通るところのため、家族や友達に自慢しています。

また、この業務は推進工法区間や、マンホールポンプの検討が必要な箇所もあり、下水道設計の重要事項が盛りだくさんで大変勉強になりました。

この業務は現場作業が多く、腰を痛めたりもしたのですが、その分ステップアップ出来たと感じる業務でした。完成が楽しみです。



写真-1 Googleストリートビューに掲載された筆者

3. 私の「推し活」と下水道

ところで、皆さんには「推し」がいますか？下水道の仕事は楽しいですが、時には辛いことも多いですよ。そんな時、「推し」はパワーをくれるものです。

最近の女性技術者の皆さんには何かしら「推し」がいる方も多いのではないのでしょうか。私もその1人です。

(1) 私の「推し」、許豊凡くん

今ハマっているのは、日本の11人組グローバルアイドルグループ「INI」です。その中でも中国出身の許豊凡（シュウ・フェンファン）くんが夢中です。

彼の魅力については、ここではとても書き切れないので割愛します。



写真-2 「推し活」グッズたち

私の「推し活」といえば至って普通で、YouTubeやSNSのチェックとコンサートに行くことが中心ですが、ある時、そんなオタク活動と下水道が結びついた出来事があったので紹介します。

(2) 新曲のMVで…

新曲のMVの公開は、ファンにとってはコンサートに並ぶ最大のイベントです。今年2月に発表された新曲「LEGIT」のMVも繁忙期の唯一の楽しみとして心待ちにしていたのですが……。Youtubeを見た瞬間びっくり、え？！マンホール出てきた？！

なんと「LEGIT」のMVはマンホールで地上と地下を繋ぐ……。といったコンセプトでした。アイドルのMVで下水道施設が一瞬でも映るなんて驚きです。

しかもMVでは、マンホール蓋だけでなく中までしっかり映っていました。動揺しながらもちゃんと中間スラブがつけてあることに感動しました。かなり大きいですが、何号なのでしょう。気になった方はぜひ見てみてください。

(3) 推し旅で…

ある日、私の「推し」であるフェンファンくんがブログをアップし、私はその内容に驚愕しました。フェンファンくんが、地元・広島に来ていたというのです。

一人旅で尾道に行ったことをブログに書いていて、その写真を何枚かアップしてくれていたのです。尾道は何度も行ったことがあるので、見たことあるところばかり。

そこで、ブログの内容を元にいわゆる「聖地巡礼」をしようと亚克力スタンド（注：アイドルの全身写真で作ったミニフィギュアみたいなもの。昨今の「推し活」では必須アイテム）を手に尾道へ行きました。

フェンファンくんと同じ構図で写真を撮りたいな……と、どこを通ったのかなとブログの写真を確認しながら海沿いを散策していたころ、ふとあることに気づきました。ここ、現場で来たことある！

そういえば数年前、上司の手伝いで尾道の現場に行き、マンホールを開けて高さを測って……ということがありました。雨水の末端のマンホールだったため、管が海へ出ている箇所を直接見ることができ、ちゃんと繋がってるんだと感動したのを覚えているのですが、ここじゃん！ということは弊社で調査したマンホールをフェンファンくんが踏んだかもしれないということ？！

下水道の仕事をしていて良かったと思いました。



写真-3 尾道にて

4. おわりに

下水道の仕事は想像していたより大変で、色んな分野の勉強が必要だし、残業は多いし、現場も多いし、よりもよってほぼ夏でキツイし、暑いし死にそうになることもあります。何だかんだ楽しくやっています。下水道って面白いです。

今後はさらに経験を積み、「推し」の力も借り、技術者として一層成長していきたいと思っています。

目指せ下水道マスター！